

試 験 科 目	学 籍 番 号	氏 名
保健医療福祉制度論		

採
点

1. 社会保障制度の 5 つの機能を、簡潔な言葉で書きなさい。

- ① (国民の生活の安定) ② (人生のリスクの予防)
 ③ (人生のリスクの分散) ④ (所得の再配分)
 ⑤ (社会の発展と安定)

下記の文章で正しいものには○、間違っているものには×を、
 または、該当する言葉・数字を()に記入しなさい。

2. 社会保障と統計

- ① 平均寿命は、その年に死亡した人の平均年齢。(×)
 ② 生産年齢人口は、収入を得ている人数。(×) 15~64歳
 ③ 社会保険は、国民全員で助け合う「共助」の仕組み。(○)
 ④ 合計特殊出生率は、成人女性 1 人当たりの出生数。(×)
 15~49歳女性

3. 公的年金

- ① 国民基礎年金は、22 歳～ 59 歳の人強制加入。(×)
 ② 障害基礎年金と遺族年金の受給者は、保険料が法定免除される。(×)
 ③ 障害年金と遺族年金は、障害者・遺族になれば受給できる。(×)
 ④ 老齢年金は、原則 (65) 歳支給。
 ⑤ 老齢年金を受給するには、(25) 年以上の受給資格期間が必要。

4. 医療保健・老人保健

- ① 健康保険の保険料は、収入額と家族人数で異なる。(○)
 ② 老人医療は 75 歳以上を対象とし、保険料の負担はない。(×)
 ③ 日本の医療保険の特徴は、(国民皆) 保険・出来高払・患者の選択・自由開業
 ④ 治療のために 4 日以上休業すると (傷病手当金) が支給される。
 ⑤ 1-3 割の自己負担が高額の場合、(高額療養費) 制度により一定額以上は還付される。
 ⑥ 老人保健事業の対象は (40) 歳以上。

5. 労働者災害補償保険

- ① 保険料を払わないアルバイトは、労災保険の対象外。(×)
 ② 補償の対象は、業務に起因する傷病・(通勤中) の事故。
 ③ 保険料は職業の (危険度) に応じて、事業者が負担する。
 ④ 事故の少ない事業者の保険料を安くする (メリット) 制がとられている。
 ⑤ 労災は (労働基準監督) 署が認定する。

次ページへ

試 験 科 目	学 籍 番 号	氏 名

採
点

6. 雇用保険

- ①パート労働者も勤務時間・契約時間により加入できる。(○)
- ②求職者給付の基本手当(失業給付)は、離職前1年間に3ヶ月以上加入する者が対象。
6ヶ月 (X)
- ③雇用保険の目的は、失業者の生活保障・雇用の促進・(失業給付)。 雇用安定?
- ④雇用継続給付の種類は、高年齢雇用継続・(育休休業給付)・介護休業。 教育訓練給付
- ⑤教育訓練給付は(3)年以上の加入者、退職1年以内の人が対象。

7. 公的介護保険・高齢者福祉

- ①45歳以上の方は介護保険料を負担し、介護サービスの対象になる。(X) 65才 40?
- ②要介護高齢者・重度障害者は、介護保険料を免除される。(X)
- ③介護サービスを受けた人は(1)割を負担する。
- ④高齢者の保険料は(市町村(広域連合))が決定する。
- ⑤高額介護サービス費は(自己負担)の上限額。
- ⑥平成18年度改正の特徴は、(新予防)給付の創設。
- ⑦特定疾病に(がん)・難病が追加された。
- ⑧財産管理・介護サービス契約を支援する制度は、(成年後見)制度と「地域福祉権利擁護事業」。

8. 児童福祉

- ①保育所と幼稚園の所管は、厚生労働省。(X)
- ②一人親世帯(母子・父子)が受けられる支援や手当は同じ。(X)
- ③児童手当は小学校(6)年まで支給される(所得制限あり)。
- ④児童福祉の対象年齢は(18)歳未満。 7才
- ⑤母子世帯になった原因の8割は(離婚)。

9. 障害者福祉

- ①自立支援医療は、精神障害者の入院も対象になる。(X) 入院? 通院
- ②平成18年4月、障害者福祉を一元化する(障害者自立支援)法が施行された。
- ③知的障害者の手帳名は(療育)手帳。
- ④福祉の理念は(1-マテリアル)。
- 精神障害者
→ 精神障害者保健福祉
手帳

10. 生活保護

- ①生活費には地域格差があるので、保護基準は都道府県知事が定める。(X)
- ②近年の保護率は約1%である。(○)
- ③8種類の扶助は、すべて現金で支給される。(X)
- ④資力調査後、原則的には(世帯)単位で認定される。

11. 公衆衛生・医療

- ①公衆衛生の中心的な機関は(保健所)。
- ②近年の死亡原因の1位は(悪性新生物)。
- ③肥満はBMI値(25以上)。
- ④患者主体の医療には、医療(インフォームドコンセント)が欠かせない。 以上